

## < 巻 頭 言 >



### ダム建設現場技術者に求められること

乗 京 正 弘\*

盛り上がるか心配されていた平昌オリンピック・パラリンピックでは、史上最多のメダル獲得に日本中が沸き、拍手を送りました。

特に、日本選手の真のスポーツマン精神に則った行動や発言が世界中に評価されとても誇らしく思ったことです。

勝利至上主義にとらわれた現在、スポーツというわかりやすい教材をもとに「人間力」を再確認させられるものでした。

今回、私のダム建設現場経験と、現在の社会からの要請、そして「人間力」をキーワードに「ダム建設現場技術者に求められること」と題して述べさせていただきます。

昨年「ダム工学」の巻頭言を書かせていただく機会を得、「寒河江ダム」「長谷ダム」「日吉ダム」「摺上川ダム」の4ダム20年間のダム建設現場で得られた経験について紹介させていただきました。

その、キーワードは「コミュニケーション」。

ダムづくりは、企画設計・用地買収から始まり、地元の皆さん、発注者の皆さん、実際に作業する皆さん、そして我々建設会社の職員が、心をつなげて出来上がるもので、そのためには良好なコミュニケーションをとることが必要だということです。

「コミュニケーション」は実体験で得られないものや自分の身についていないものを補ってくれます。また、他人に対して無関心でなくなり、自分自身も律するようになります。

ダム建設現場は、「コミュニケーション能力」を向上させる環境にあります。

現在の社会からの要請は「働き方改革」です。

ダムにはたくさんの工種がありダム建設現場技術者は土木技術の基本的な要素を多く学び、実践しています。

また、ダム建設工事ではたくさんの工種がそれぞれ複雑に絡み合い、工程管理には細心の注意が必要です。

何か無駄はないか？どこかに無理はないか？と日々作業の見直しをしています。

---

\* 飛鳥建設株式会社 代表取締役社長

これが「働き方改革」の基本です。

以前からのやり方に「？」をつけることから始まります。

また、ダムのメイン工種である堤体の「コンクリート打設」や「盛り立て」は同様の作業の繰り返しなので、機械化による効率アップ・人員削減等が多く望めます。

プレキャスト化もまだまだ緒に就いたところです。

ダム建設現場は建設会社にとっての看板現場であり、「働き方改革」を先頭に立って進めていかなくてはなりません。また、これができなければ建設会社に担い手は来ないというくらいの自負を持たなくてはなりません。

ダム建設現場は、「社会からの要請について先頭に立って応える能力」を修得できる環境にあります。

そして「人間力」です。

「自分なりの目標を掲げ、自分自身を常に高め、相手のことを思いやる」能力ということです。

ダム建設現場に携わる技術者は、所属会社の垣根を超えたコミュニケーションの場があります。そしてその場を通じてお互いを尊敬しあっています。

また、ダム建設現場はたくさんの人達がたくさんの工種で働いています。

我々技術者はすべての人達の働きを理解し、尊敬し、感謝しなければなりません。威張り散らして、高圧的に指示しても人は簡単には動きません。

ダム建設現場は、「人間力」の向上に適した環境にあります。

最後に、「ダム建設現場技術者に求められること」をまとめます。

ダム建設現場は「コミュニケーション能力」「社会からの要請に応える能力」「人間力」の向上に適した環境にあります。

その環境を生かし、ダム建設技術はもちろんのこと、土木技術を広く理解するとともに常に更新することを怠らず、一人では何もできないというところからたくさんの人達とのコミュニケーションを大切にし、心を一つに協力し合うことで巨大構造物を構築することに感動し、そのダムが国民の安全安心な生活に貢献することを実感する（3K）が求められます。

また、心の中に「ダム」をもち、会社や建設業界をリードするという志を持ってダム建設にあたってください。